



いくせい通信

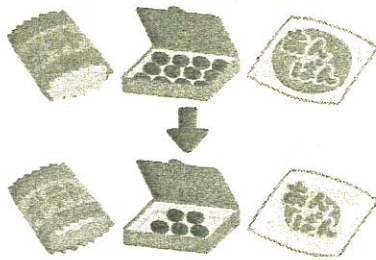
Smile up!

～遊べない子どもたち～

2024.11.25

No. 8

酒田市青少年指導センター
酒田市中央西町2-59
TEL 0234-24-2901



サイズダウンで実質値上げ!?

早いもので11月もうすぐ月末です。今年も残すところあとひと月ちょっととなりましたが、今年ほど物価の値上げを実感する年はないのではないのでしょうか。今月からはまたまた電気料金の値上げに、醤油やお菓子などの食品の値上げも続々と続いています。令和米騒動は収まったものの、コメの値段も相変わらず高止まりのままですね。

自転車の『ながらスマホ』厳罰化

さて11月から新たに始まることの一つに自転車の「ながらスマホ」や「酒気帯び運転」の罰則強化があります。

「ながらスマホ」については、これまでは、違反しても最大で5万円以下の罰金だけでしたが、今月からは事故の危険を生じさせた場合、1年以下の懲役、または30万円以下の罰金が科せられることとなります。

また、自転車の酒酔い運転に対しても罰則が定められていましたが、11月からは「酒気帯び」も罰則の対象になり、違反すると3年以下の懲役または50万円以下の罰金が課せられることとなりました。



今年度は、11月から2月まで街頭指導をお願いすることはないのですが、もし、「ながらスマホ」をする子どもたちがいましたら、一言注意の声かけをお願いしたいです。おそらく子どもたちも今回の改正については知っていると思うのですが…。

昨年度は暖冬でしたが、今年の冬はそこそこ寒く、雪の量も多いのではないかとこの予報が出ているようです。しかし、自転車に乗る子どもたち、特に通学で使っている人はまだ自転車を利用するでしょう。ながらスマホと合わせて、ヘルメットの着用も呼びかけていただければありがたいです(今年は小学生のヘルメット非着用も目にすることが多いのでした)。

あなたのパスワードは大丈夫？

先月号で「セクストーション被害」についてお知らせしましたが、最近の小中学生に多いネット関係の加害・被害に「なりすまし」があります。ご存じの通り、他人のアカウントやパスワードを勝手に使って、その人物になりすましてイタズラをしたり操作したりする犯罪のことです。警察の方のお話をお聞きすると、この「なりすまし」の犯罪、最近が庄内の小

中学生の間で多く発生しているとのこと。

たとえば、こんな事件です。

イタズラ好きの A 男君が、クラスのマドンナ花子さんのパスワードを乗っ取り、花子さんになりすまして、同じクラスの太郎君に「太郎くんのが好き！」ってメッセージを送ります。太郎君がそのメールを見てニヤニヤして喜んでいるところを動画に撮り、A 男は仲間内でその動画を見ながら大笑いってというイタズラがありました。

さて、このなりすましの犯罪だけでなく、パスワードを盗み取られて犯罪に巻き込まれるケースが後を絶たないようです。先日のあるニュースでは、盗み取られやすいパスワードが紹介されていました(右下)。当たり前って言えば当たり前の文字配列ですね。でも、案外使っている人が多いから被害もあるのでしょう。下の①~③のようなパスワードも人気(?)だそうです。どうしてカンタンに使われて、カンタンに盗まれるかわかりますか？

- ① qwerty
- ② 1q2w3e4r
- ③ asdfghik

一看すると、そうカンタンに盗まれるように思えませんが、この文字を打ち込んでみるとわかります！そうなんです。キーボードの配列をなぞったパスワードなんですね。こういうケースも危ないそうですのでご注意ください。

AI が進化している今、こういったカンタンに見破られそうなパスワードなどは使うべきじゃありません。子どもたちにも教えないといけませんね。

花子のパス使って
「太郎君のが好き！」って
送ってみよう



漏洩パスワード ベスト3!
第1位「123456」
第2位「password」
第3位「123123」

遊べない子どもたち

街頭指導をしても、公園で遊ぶ子どもたちの姿はまばらです。たとえ公園で見かけたとしても、子どもたちが夢中になって遊んでいるのは「ゲーム」です。子どもたちに「自由に遊んでいいんだよ！」って言っても、「疲れるから…」「何をすればいいの？」と、なかなか遊べないのが現状という話もあるようです。

では、なぜ子どもたちは外で元気いっぱい遊べなくなってしまったのでしょうか？

それには大きく2つの理由が考えられます。

一つは、ゲームや動画視聴など、今どきの遊びが子どもたちの感覚を麻痺させているのではないかということです。Smile up!9月号(No.6)でもお伝えしたように、スマホやゲームは、子どもたちにとってとても刺激が強く、脳内にドーパミンが大量に放出されます。その刺激によって脳は喜びを感じ、さらに新しい刺激を求めていきます。

強い刺激に慣れてしまうと、小さな刺激は麻痺して感じにくくなるのは当然でしょう。「石を投げて水切り遊びして競った」とか「草相撲で勝った!」とか、たとえば「霜柱を踏んだら面白い音がした」というような、自然の中や遊びの中で感じる刺激では喜びを感じなくなってしまうでしょう。

本来なら、こういう「遊び」の中で、子どもたちは物事を創造していく楽しさや人間関係の築き方、助け合うことの大切さなど、社会の中で生きていくために必要な能力を培っているのに、誰かが創ったバーチャルな空間の中で遊ぶだけでは、それがなかなか身につかないと思われれます。ですから、子どもたちは「自由な遊び」「自分で考えるゲーム」「楽しみを創造すること」ができなくなってしまうでしょう。

もう一つの理由は、元気に遊ぼうとしている子どもたちへの厳しすぎる目があるためです。

みなさんは、いま全国のあちこちの「公園」で、子どもたちが、それこそ「自由に」遊ぶことができなくなっているのをご存じでしょうか。高齢化した社会は、高齢者には都合の良い社会をつくり出そうとしています(選挙権があるから?)。

“ワーワー、キャーキャー”うるさかったり、ボールが飛んできたりという公園の風景は、ちょっと昔なら当たり前だったかもしれませんが、今や「禁止事項」になっているのです。

そんな子どもたちを取り巻く現状を描いたおもしろい4コマ漫画があります。(©UNOKINOKI)さんが描いた「大人中心の世界」という漫画で、公園でボール遊びをしようとしたら「禁止」。しかたなく車通りの少ない道路でボールを蹴ったら、通りがかった車の運転手に怒鳴られる。外遊びをあきらめ家でゲームをしようとしたら、お母さんに「家でゲームばかりしてないで、外で遊びなさい!!」と怒られ、今度は公園でゲームをしていたら「最近の子は公園でもゲームばかりね」と近所のおばちゃんたちに白い目で見られる…という話です。

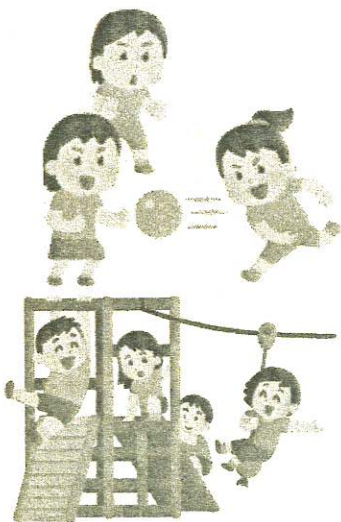
ホント「大人ファースト」の世の中になり過ぎていませんか?もっと子どもたちに寛容な社会であったなら(子どもだけでなく多種多様な人たちに)、子どもたちにとっても過ごしやすい世の中になるだろうし、ゲームばかりの生活にならない子どもに変わるかもしれないのです。「多様性」という言葉が飛び交っている割には、まだまだ狭い考えや見方にとらわれて、自分の思いに反するとすぐ大きな声を出して怒鳴ったりクレームを付けてきたりしてしまうようです。案外そんな大人の後姿を見て、「ああ、ちょっと変わった奴はイジメていいんだ!」と子どもが学んでしまっているかもしれません。一人の大人として大いに反省しなければと思います。

お願い

近所の家や公園で遊ぶ他の
お友達に迷惑となるボール
遊びはやめましょう。
マナーを守って快適な公園
にしましょう。

～保護者・保育士の方へ～

幼児・児童の喚き声が大きく
非常に迷惑しています。
公園は公共の場です。
大声をださない様ご指導下さい
(近隣住宅から苦情が出ています。
お子様には公共マナーを教えてください。)



ごそんじですか？「警友会」

今回も街頭指導をお願いしている酒田市内の関係団体をご紹介します。(次ページにも続きます)

警友会は、警察官や警察職員のOBで組織される任意団体で、警察活動の支援や地域安全活動などを積極的に行っているみなさんです。このうち、酒田市では10名の会員が酒田警察署長から委嘱され、生活安全課や他の企業と協働で「振り込み詐欺ふせぎ隊」を結成し、2か月に一度の年金支給日に、イオン酒田南店に向向いて、被害防止の啓発活動を行っているそうです。本当にありがとうございます。



ごそんじですか？「更生保護女性会」

更生保護女性会は、非行や犯罪に陥ってしまった人々とかかわる「更生保護」関連の活動をしているみなさんです。犯罪・非行を未然に防止し、地域から犯罪者・非行少年を出さないようにするため、それぞれの地域で一般の方々を対象に講演会、ミニ集会、子育て支援などを実施し、また、関係機関団体と協力して、犯罪予防の知識の啓蒙普及を図ったりします。

＜酒田鮎海更生保護女性会の主な活動＞

- ・子どもまつり「ウォークラリー」
- ・千羽鶴作成(市役所を通じて広島へ)
- ・チャリティバザー
- ・令和6年度大雨災害対応
タオルを回収し保育園へ寄付
募金活動
- ・社会を明るくする運動への協力



カンガエル算数(New)

今月のお題(今年の小6全国学力テストより)

ゆうまさんは、折り紙を72枚まっています。

ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。こはるさんは何枚持っていますか？

＜正答率は？＞

問題を読んでわかる通り、この問題は「2けたのたし算・ひき算」の問題です。つまり、小学校2年生レベルの問題です。にもかかわらず6年生の平均正答率はたった62.3%！全国の小学生の三分の一が間違えているのです。

ちなみに答えは

(式) $72+28=100$ (答え)100枚
となります。



もしかすると、みなさんの中にも「あれ？72-28じゃないの…」と思った方がいるのではないのでしょうか。

先月号でもお話ししたように、「あわせると」とか「多い」はたし算、「ちがいは」「少ない」はひき算と覚えてしまうような教室の子どもたちは間違えてしまったのです。そんな条件反射のような「答え」の出し方は「思考」とは言わないでしょう。状況をよく見て「課題(問題は何か)」を導き出し、仲間とあだこうだと試行錯誤する過程を「思考」とか「表現」とか「態度」と呼ぶのだと思います。

今月のお題(今年の小6全国学力テストより)

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

たけるさんは、3分間で180m歩きました。

同じ速さで歩き続けると、1800mを歩くのに何分間かかりますか？

